

令和元年第4回滝川市議会定例会一般質問

質 問 順 位	1	質 問 者	寄 谷 猛 男 議員	
件 名	項 目	要 旨	メ	モ
1. 市長の基本姿勢	1. 江部乙地域、東滝川地域のまちづくりについて	1. 今年度からコミュニティ・スクールが導入され「地域とともにある学校づくり」が進められている。しかし、東滝川には小学校も中学校もなく、江部乙では中学校の統合計画が進んでおり、いずれの地域も子どもたちと地域とのつながりは薄れてきている。子育て世代にとって学校のない地域での居住は難しく、今後のまちづくりについて市の考えを伺う。		
2. 防災対策	1. 昨年のブラックアウトの教訓と周知活動について	1. 水防災タイムラインの作成や避難所等変更計画の策定が精力的に行われているが、昨年から今年にかけて台風などの記録的な大雨で日本各地に甚大な被害が発生しており、コミュニティ・タイムラインの作成は急を要する。昨年のブラックアウト等の経験を踏まえた防災計画の見直しでは、「避難所の見直し」以外は市民には伝わっていないように見受けられる。救援体制が整うまでの発災直後や自立型避難所の運営にあたっては、町内会やさまざまな民間組織の協力が期待される。その場合に起こりうる問題のいくつかは、昨年のブラックアウトのときに経験しているのではないかと。そこで、災害時は救済を優先するのか秩序の維持を厳守すべきか、災害の経験の記憶の新しいうちに少しでも多くの教訓を引き出し、市民に周知すべきと思われるが市の考えについて伺う。		

質 問 順 位	1	質 問 者	寄 谷 猛 男 議 員	
件 名	項 目	要 旨	メ	モ
	2. 外国人の災害時避難対策について	1. 市内には100名ほどの外国人が暮らし、市ではインバウンド観光に力を入れている。災害発生ときは在住、一時滞在の区別なくどこの避難所でも受け入れを行うのか。また、地理勘が不十分なことも予想され、避難所の位置やそこまでのルートが分かりやすいよう準備しておく必要がある。そして、避難所でのルールを理解してもらうことは、他の住民とのトラブルを防ぎお互いの安全・安心には欠かせないと思うが、これらの取り組みについて伺う。		
3. 福祉行政	1. 幼児教育・保育の無償化について	1. 10月から幼児教育・保育の無償化が実施された。この実施に伴う保護者負担への影響について伺う。		
	2. 子育て世帯に対する市独自の支援策（均等割免除）について	1. 赤平市では、令和元年度より当分の間、国民健康保険に加入の世帯で、18歳以下のお子さん（世帯員）に課税される均等割（医療分・後期高齢者支援金分）が全額免除されている。 市でもさまざまな子育て支援事業に取り組んでいるが、消費税増税などにより家計は圧迫され、さらなる支援事業が求められている。子育て世帯に対する市独自の支援策（均等割免除）についての考えを伺う。		
4. 教育行政	1. 学校給食食材の地場農産物等の活用、安全性の確保について	1. わが国有数の食料供給基地といわれる本道の特色を活かし、より安全・安心な学校給食を提供するため、地場農産物等を積極的に活用するための取り組みが求められている。地場農産物等活用の取り組み及び食材の安全性確保の取り組みについて伺う。		